

薬剤の紛失について

町田市民病院手術室内の鍵付き薬品保冷庫で個数管理している麻酔薬筋弛緩剤 1 瓶が不足していることが判明しましたので下記のとおり報告します。

記

- 1 発生日 2017年7月4日（火）
- 2 発生場所 町田市民病院・手術室
- 3 経緯

7月4日の午後5時30分、当院手術室内の鍵付き薬品保冷庫で個数管理している麻酔用筋弛緩剤（商品名エスラックス静注 50 mg）1 瓶が不足していることが分かりました。直ちに7月3日から4日の当該薬剤の使用数の再確認及び手術記録との照合、麻酔医・看護師からの聴取、各手術室などの捜索を実施しました。また誤廃棄の可能性を考えて7月4日の洗濯物及び廃棄物を調査しましたが、未だ不足薬剤の発見には至っていません。すでに搬出された廃棄物もあり業者への確認調査は行いましたが、廃棄物すべてについて直接確認できていないため、誤って廃棄されている可能性は完全には否定できません。

当該薬剤が毒薬であることを踏まえ、誤廃棄以外の可能性も否定できないことから7月6日東京都並びに町田警察署に報告しました。

4 対応

今回の事態を重く受け止め、医療安全管理委員会及び関係会議において、今後も再発防止に向けた対策を検討しました。

手術室で使用するすべての麻酔薬について以下の対策を講じます。

- (1) 薬剤管理を見直す
 - ア 薬剤数が合わない場合は、直ちに所在を明確にする。
 - イ 毎日薬剤確認は薬剤科担当と看護師責任者でダブルのチェックを行う。
 - ウ 薬剤保冷保管庫で統一した管理ができるようにする。
 - エ 薬剤保冷庫の鍵の管理を責任者が常時携帯するように徹底する。
- (2) 防犯カメラを設置し手術室の入退出の管理を徹底する。

今後薬剤の取り扱いに関して再発防止に向けた対策を実施し、薬剤科の更なる介入も含め管理改善に努めてまいります。